

## この手続の使用にあたって

### 1. この手続の組立て

#### I はじめに

#### II 歳入復代理店の事務

##### 1. 窓口受入事務

##### 2. 後方整理事務

(1) 集計表を払込店で集中作成する場合

(2) 集計表を自店で作成する場合

○ 自店が採用している取扱方法に合わせ、(1) (2)のうち、いずれかを使用すればよい。

##### 3. 特殊な事務

○ まれにおきる事務をまとめてあるので、必要の際に使用すればよい。

#### III 払込店の事務

### 2. 記載区分

左のページ	右のページ
・ 基本的、標準的な事務を取扱 手順にしたがって記載。	・ 注意事項 ・ 計表の作成例 ・ 参考図表

○ 左ページと右ページとの関連づけは、各ページごとに付けた①②……の連続番号によっている。

○ この手続に収録していない事務については、すべて日本銀行の本支店に照会のうえ、その指示に従って取扱うこととしている。

## 【 用 語 の 解 説 】

**国庫金**……………国の収入、支出となる現金の総称（地方公共団体の収入金、支出金は国庫金ではない）。

**歳入金**……………国有財産の利用収入、交通反則金、厚生保険や国民年金の保険料など国の一般会計および特別会計の収入金。

**国税収納金  
整 理 資 金**……………所得税、法人税、酒税などの国税。  
(国税資金)

**歳入金等**……………歳入金、国税資金の総称。

**納付者等**……………納付者（個人、法人）、払込人の総称。

**払込人**……………納付者から直接受入れた歳入金等を歳入復代理店等に納付する官庁の会計職員等。

┌ 収入官吏、国税収納官吏  
└ 国の委託により収納した歳入金を納付する市町村または日本年金機構

**振替金融機関**……………納付者から依頼を受けて歳入金、国税資金を納付者の預貯金口座から引落とし、歳入復代理店等に納付する金融機関。

**払込店**……………歳入復代理店で取扱った歳入金等の取まとめにあたる信用組合等の店舗。

**資金払込店**……………日本銀行との間で当座勘定取引を行う歳入代理店事務の金融機関に対する復託に関する契約締結先（上部団体）の店舗のうち、歳入復代理店で取扱った歳入金等の受入金にかかる日本銀行との資金決済を行う店舗。

**資金決済店**……………歳入復代理店で取扱った歳入金等を資金払込店の当座勘定から引落す日本銀行の本支店。

**OCR処理店**……歳入復代理店が受入れた歳入金等の収納に関する事務を光学読取式電子情報処理組織を使用して処理する日本銀行本支店。

なお、OCR処理店は、払込店の所在地によって下表のとおりとなる。

払込店の所在地	OCR処理店
東京都、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、沖縄県	日本銀行本店
北海道	日本銀行札幌支店
宮城県、岩手県、山形県、青森県、秋田県、福島県	日本銀行仙台支店
愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、静岡県	日本銀行名古屋支店
大阪府、奈良県、和歌山県、京都府、滋賀県、兵庫県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県	日本銀行大阪支店
広島県、岡山県、島根県、鳥取県、山口県	日本銀行広島支店
福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、熊本県、鹿児島県、宮崎県	日本銀行福岡支店

**領収控**……………受入書類（3片）のうち、領収証書と領収済通知書以外の1片。例えば領収控、納入告知書など計算の基礎となる書類の総称。